

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		おはなのいえ木場えこる		公表日		令和 8年 5月 30日	
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・お勉強する部屋、遊ぶ部屋など決められている。 ・ここは何をする部屋と分けている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1		・静かに過ごす部屋で、過ごせていないときがあるので、スタッフ間で話し合う事が必要。 ・スタッフ側でも分かりにくく、再度確認する必要があると思う。 ・掲示物がはがれてしまったり、分かりづらくなっている。新しくする、見やすくする工夫が必要。	
	4	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4				
	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4		・和室や2階が該当。 ・個別に話をする部屋がある。 ・遊ぶ子は2階か外へ、宿題はここ、静かに過ごしたい人はこっち、など声かけしつづけるようにしている。		
業務改善	6	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・共有スタッフによって変化。 ・常勤とパートの方と話し合いをする。パートの方の気になったことも共有をする。		
	7	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4				
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		・その時々で意識した発言するようにしている。	・ケース会議の延長で話すことはあるが、時間を増やせるよう工夫したい。	
	9	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4			・もう少しその機械や開示はあるとよい目安になるかと感じる。 ・外部評価がどういったものが把握できていない。	
	10	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・毎月研修が行われており、その中でグループワークや他の事業所との意見交換があつて良い。		
適切な支援の提供	11	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4		・すぐに見返せるよう、ファイルの表に用紙を挟むようにしている。		
	12	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・子ども達の日々の生活を振り返りながら、スタッフ間で話し合っている。 ・ケース会議時に実施。		
	13	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・スタッフ間で情報共有を行っている。		
	14	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4		・個別支援計画書を元に支援を行っている。		
	15	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支	4		・気になること、情報は特記事項に記入したり、メモに残すようにしている。		
	16	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4				
	17	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4				
	18	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4		・片寄がないようにしている。		
	19	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		・子ども達に応じた計画をしている。	・「はい」に○をつけているが、あと一つ不足分はあると感じる。もっと個人のアセスメント等必要。	
	20	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		必ず朝礼を行い、前日の情報においても確認している。		
	21	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		・必ずではないが、何かあったときは、その日のうちに共有している。 ・終了直後難しい場合はメモを残したり、翌日に振り返れるようにしている。	・送迎後の短い時間や次日の準備に追われじっくり行うのは難しく、平行して行っている。	

	22	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
	23	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	4		・半年に1度行われている。	
	24	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4			
	25	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		自己選択が出来るような活動も増えている。	
関係機関や保護者との連携	26	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4			
	27	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4			
	28	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4		・学校への連絡が難しい所は、各家庭に協力してもらいつつ共有している。	
	29	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	3	1		
	30	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	2	2		
	31	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	2		
	32	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	1	3		・事業所次第で差が出てくる。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	2	2		
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4		・滞りの送迎時に何かあったら必ず伝えている。 ・送迎時、LINE、連絡帳にて様子をお伝えしている。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	2	2	・保護者の方との話などは情報共有は行っている。	・まだ家庭間への取り組みは職員として難しい部分もあるかを感じる。
保護者への説明等	36	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		・何かあって変更する時など、説明は行っている。	
	37	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4			
	38	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		・説明後同意を得ている。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4		・保護者の方から相談がある時は面談を行う時もある。	
	40	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・月1回保護者会が行われている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・苦情受付が設置されている。	・事業所によって伝達先が不足になりやすく、意識する必要がある。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4			・インスタの更新ができていない。スタッフで分担して行っていきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4		・個人情報の取り扱いには注意している。 ・利用児の画像にも気をつけている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4			

非常時等の対応	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4			・周知できていないので、まずは自分が周知する必要がある。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・避難訓練は行っている。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	・事業所スマホと、すぐに共有できるよう記録を残すようにしている。 ・保護者の方に確認する。	・抜けている部分がある。再度確認が必要。 ・児童との直接処遇に関わってる機会が少ない。個々の情報を共有していきたい。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	1	・食物アレルギーに関しては事前に保護者に伝えてもらう。	・宮小路からの引継ぎの方々と、出来ればデータを送っていただく等して下さると分かりやすいと思われる。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・月に2回行っている。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・虐待防止の研修がある。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4		・契約の時に説明と承諾を得ている。	